



第14回上田八木・金融政策サーベイ(2017年9月)

発表日：2017年9月19日（火）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2017年9月13～15日
調査先	197先
回答率	91.8%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合（9月20日～9月21日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回7月18日)	変化幅
緩和	0 (構成比%)	0	0
不変	100	100	0
引締	0	0	0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	0	0	0

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回7月18日)	変化幅
低下	1	0	+1
不変	97	96	+1
上昇	2	4	▲2
短期金利予想DI	+1	+4	▲3

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回7月18日)	変化幅
低下	2	3	▲1
不変	88	88	0
上昇	10	9	+1
2年国債金利予想DI	+8	+6	+2

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回7月18日)	変化幅
低下	1	4	▲3
不変	80	48	+32
上昇	19	48	▲29
10年国債金利予想DI	+18	+44	▲26

質問(Q5) 現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回7月18日)	変化幅
1. 1年未満	7%	4%	+3%
2. 1年以上3年未満	64%	78%	▲14%
3. 3年以上	29%	18%	+11%